



兵庫支部NEWS H16 3月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> Eメール nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部月例会2月「三金会」報告

平成16年2月20日於「フリージア」にて午後6時より開催。

出席者: 大村実良(33商) 藤田博保(35商) 伊藤互(35商) 高尾巖(36商) 平間正昭(37商) 山本信司(37米英) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 奥本進(39商) 銭谷勘一郎(39米英) 安徳信義(44商) 合計11名

1. 支部総会開催の件

第1候補会場のインド料理レストラン「シャンティ」特設会場の予約が取れたので、6月20日(日)同会場で開催を決定したことを支部長から報告。

その他の詳細について協議し、下記の通り決定。

会費: 男性7,000円、女性5,000円

平成15年・16年卒業生は無料招待

同窓会会費新規完納者を半額招待

開始時間: 総会11時~ 懇親会12時~

アトラクション: インド民族楽器シタール演奏者石濱匡雄招聘

2. 新評議員選出の件

現評議員の任期は本年3月31日満了となり、現任評議員の福田要氏の留任辞退のため、新しく評議員を選出することとなった。互選の結果、平間正昭氏(37商)が選出され、同氏の就任了解がありましたので、評議員として選任決定。

3. 同窓会会費納入状況

先月の三金会で報告後の新しい完納者2名

久芳健二(44中国)、田中祐行(55商)

4. 会費納入促進活動

前回の決定に基づき、会費分納中の人、49名に対して、特例(平成18年3月末までは総額20,000円で完納扱い)と残高の連絡文書を2月18日発送。

第21回三金ゴルフ

開催日時: 平成16年3月24日(水) AM9:45スタート

開催場所: 神戸ゴルフクラブロータリーコース すずらん

プレー費: ¥12,500

申し込み先: 三金ゴルフ同好会会長 安徳信義(44商)

Tel 078-917-1367 Fax 078-917-1376

E-mail: antoku@ethnic.co.jp

2月現在参加申込者: 安徳信義(44商) 松山仁(44商) 長瀬正春(44商) 久芳健二(44中) 山田紘昭(44商) 澤田英憲(44商) 河野旺生(36商) 平間正昭(37商) 山本信司(37米英) 名倉勝征(41米英) 島村裕司(H12経済) 11名

平成16年度兵庫支部総会・懇親会

6月20日(日)開催**JR芦屋駅ビル・モンテメール5階
インドレストラン「シャンティ」特設会場**

支部総会 : 午前11時から正午

懇親会 : 正午から14時まで

会費 : 男性 7,000円

女性 5,000円

平成15・16年卒業生無料招待**同窓会会費新規完納者半額招待**

懇親会アトラクション出演者紹介

石濱匡雄(イシハマ タダオ)

(北インド古典音楽家、北インド民族楽器シタール演奏家)



1979年大阪生まれ。弱冠15歳で北インドの民族楽器シタールを習い始め、97年初渡印。その後数回の渡印を重ね、99年よりシタール二大流派の一つでラヴィシャン カールやアリ アクバルカーンの活躍でも有名なマイハール流派の巨匠バンディット モノジ シャンカール氏に師事。2000年よりインド東部カルカッタに移住し、在印中は師の下研修を積む一方、現地で数々のコンサートも行い、2001年にはインドの人気ベンガル語放送局

etvbangalにも出演を果たした。2003年にはインド北東部マニプールの伝統楽器プンとの共演を果たし、その自由な発想と企画性は好評を得た。2003年4月カルカッタより帰国。

現在インドと日本の両国でコンサート活動・各種文化公演等を行う一方、日本では古典音楽のみならず様々な楽器とのコラボレーションや後進の育成も行っており、2004年にはバンコックの新進FM局FAT Radio主宰のイベントに出演。その繊細さと激しさの両面をあわせ持った演奏スタイルは人々の心を惹きつけ続けている。

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318

《自然木 高級檜造りの家》

増改築・新築・不動産全般

株式会社 瀬戸内ホーム

代表 永翁正臣

(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

中東旅行記 — 第6回 —

二宮慶治郎(38米英)

1970～80年代当時旅行中に多くの日本人に会った。日本経済は右肩上がりの高度成長期にあり、日本は輸出が花形産業で、商社はこぞって外貨獲得に努め、海外へ派遣される商社マンにとってタイプはいろいろあるが、ともかく企業戦士であった。

大手M社のヨーロッパ駐在の某氏などが麻雀牌を携行し、各地を歴訪する中、日本人を見つけるや休日に一卓かこみ親睦を深め日本人から稼ぎをあげていた。そうしている間に生きた情報を入手していたのである。正に一石二鳥であった。今、この人は静かな余生を楽しんでいるのだろうか。

今回は「油断大敵」の体験談をひとつ。パキスタンでの苦い話。バングラディッシュのダッカとパキスタンのカラチを30日ごとに滞在期間ぎりぎり交互に往復していた。カラチで当時アフガニスタンから難民が流入しているので気をつけなければならぬ時であった。航空会社の代理店へパスポートとチケットをそれまで預けた事はなかったが、その時は預けていて助かった。



カラチ市内

パスポートをなくすと本国照会で日数がかかり即座には発行してくれない。

カラチ市内で、白昼警察の白いシャツに肩章をつけた者にバッグと金を盗られた。交通警察官が遠くないところに見えていたので油断していた結果である。こちらから「IDを見せろ」と言うことに気もつかなかった。訪問先の名刺、メモ、貴重な商売機密をとられてしまった。

「返せ」とあいてる車の窓から中のドアハンドルを握って車にしがみついていたが、車のスピードを上げ振り切られた。車から3回転して位して地面に肩をたたきつけられた。サングラス、背広はズタズタに破れた。警察に行かず、ホテルのショップでサロンパスを買い痛みを抑えていた。2日目にテーブルの紅茶カップに腕が届かずひどくなったので、とうとう医者へ行くと注射された。内出血が皮膚の下へ出てきた。一週間くらいで黄色になり腫れがひいてきた。これがアフガンの山中あたりの「医者はいないところだったら」と思うとゾツとする。



ラホール市のホテルを聴く

カラチからイスラマバードまで飛行機で行き、乗り合いバスで北部のラホールまでいったが何かしら不安が付きまわっていた。日本の中古車が自動扉とドアに書かれていた。カラチでも現地の人間は昼間の明るい時でも一人でのドライブはさけていた。銃砲を身に着けた者が寄り付いてくると、心穏やかではない。故障でもすればどうにもならない。

(to be continued)

とんだ事件に!!

インド便り — 第8回 —

高森千賀子(44米英)

ここカジュラホに何度も訪れて、長期滞在している40歳過ぎの自称、日韓混血女性Yと知り合いになった。Yは日本に住んでいて、韓国語訛りがあるものの日本語が話せる。

Yが男性と遊び、彼らに大金、バイクなどを貢いでいるという噂は耳にしていたが、しかし、それは彼女の私生活のことだし、気にしなかった。一見、おとなしい、そんなことをするようには見えなかった。

Yは私の家に何度も来て、仲良くしていたが、突然私の全くの嘘の物語を作り、ノートに50人の男性の名前が私のボーイフレンドとして列挙された。ここではボーイフレンドというのは、性的関係のあることを指す。

私が学校の生徒を連れ帰ったり、若い男の子たちを部屋に監禁して、夜な夜な淫らな行為をしているとか、話すのも恥ずかしくなるような作り話だ。

そしてボーイフレンドだとされている人たちの写真を撮り始めた。私が男の子たちと写っている古い写真も、Yはどこからか手に入れ、嘘の物語と写真を多量にコピーして、姿をくらませてしまった。

2週間後、Yはカジュラホに戻って来て、あるホテルへ行き、「千賀子はどこか〜」と喚き騒ぎ、警官が駆けつけた。その警官や大勢の目撃者の前で、Yは椅子でガラスを割ってしまった。Yは「千賀子に戻って来いと何度も電話したから戻って来た。」と言い、私に「あなた、ここにいたでしょ!」と言った。私は電話もしていないし、そこにもいなかった。どうやら幻覚を起こしているようだった。顔つき、目つきが明らかに異常で、ドラッグか何かをやっているような感じだった。

警察は彼女を派出所に連れて行ったものの、すぐに釈放して、Yは自由の身になった。Yのパスポート、所持品のチェックもしていない。Yの本名すら知らない。私はチェックするよう何度も依頼したが、そのうちと言うばかりだ。何と警察の怠慢なことか。

そして、彼女は私のことを警察に告発した。何も告発する理由はないのに、デッチあげ物語のせいで、警察はこもあろうか、私の身辺調査を始めた。学校の教師、わずか10歳の無邪気な生徒たち、私の知り合いなどがチェックを受けた。前述の写真の人たちもだ。これには私も黙っておれず、今度は私がYを告発した。

(次号につづく)

* * * * *

この先は来月号にしますが、まだ大変なことになっているのです。私は毎日、警察に顔を出しています。学校もお休みして、あちこちの警察のオフィサーに会いに行ったりして、疲れています。警察は彼女を強制帰国させる方向で韓国大使館と接触していますが、けりがついていません。明日か明後日に警官と私とで彼女をデリーの大使館に連れて行くことになるかも知れません。

こういうわけで落ち着きませんが、ひとまず原稿をメールしますので、よろしくお願ひします。

原稿大募集

随筆、旅行記、自分史、短歌、俳句、詩、川柳、写真、本紙にたいするご意見、ご感想、何でもOK。皆様のご投稿をお待ちしています。

広告大歓迎

掲載料：1/10ページ 1回500円
お申し込みは6回分3,000円でお願ひします。

北京大学留学記<两个星期>

小谷武幸 (税関OB, 歩こう会ゲスト)

「だって悔しいじゃないか。我々戦中戦後に青春を経た者現代の若者の生き方の少々位経験させて貰ってもいいじゃないか」の動機で、学問をしようでなく留学と云う体験をした程度で、大志を抱いた訳じゃない。だから偶々広告で見た旅行社の「北京大学2週間中国語研修」に応募しました。

まごまごしていると年齢制限 <65~75歳迄> にもう半ば過ぎているので、どうせなら有名大学をと北京大学を選びました。



北京大学の赤門

- 1) 時期: 8月 大学の夏休み、要するに大学のアルバイト
- 2) 同学: 関空より3名、成田より25名、計28名中男子8名(おじさんばかり) 女子 平均年齢25歳位 半分以上は留学経験あり。おじさんの一人は大学渡り歩き5回目。
- 3) 教室: 哲学教室。20名位の部屋
 老師 大学教授 男 40代
- 4) クラス分け: 習熟度によって、3クラスに。
 テストの結果70点以上Aクラス、
 30点以下Cクラス、中間 Bクラス
 勿論私はC、研修100時間程度ではCだろう。
- 5) 学習: 勤勉であるべし。教科書は「你好」から始まるがスピードが早い。教室では中国語のみ、「さあ困ったチンプンカンプン」そしたら隣の可愛子ちゃんが「ひそひそ」と通訳して呉れました。
 午前8:30より15:00 内1時間昼食
- 6) 生活: その留学生宿舎はホテル並み。勿論バス、トイレ、電話、TV付き
 食事: 朝食: ¥150のバイキング
 昼食: 大学内で5軒位ある各国料理
 夕食: 大学メイン食堂は皿毎にコックの名前が貼り付けられ自信の程有り。
 ビール飲んで¥500位
 又は王府井あたりに出掛ける。旨い、安い。別嬪さんに囲まれ至福の時であった。
- 7) 8月15日: 戦争の終わった日。何か行事でもあるかと思っただけ、新聞もTVも小泉が靖国神社に行くと一寸触れただけ、大学の掲示板は留学案内作りで、もっとも殆んど欧米大学、日本は2校のみ、政治色は全くなかった。天安門に行ったが、通常と変わらず、日本のマスコミがひとり騒いでいる感じ。
- 8) 追想: 2个星期<2週間>アッと云う間に過ぎた。毎日充実した日々だった。先生、同学これで一期一会になるかと懐かしむ。各国学生との交流があればもっと良かった。何さ! 言葉が! ハートで話せば何とかなる。

北友会ニュースより

<平成15年度第9回役員会>

1月26日午後6時半から同窓会館で開催。江口会長以下本部役員18人と水上事務局長が出席。

1. 同窓会館1階多目的ホールの使用料等について
 使用細則を総務グループで案を検討し役員会に諮ることになった。
2. 弓道部の褒賞金支給について
 弓道部の女子が平成15年12月、指宿市総合体育館で開催された九州学生弓道新人戦指宿大会(40校参加)で団体準優勝。同窓会サークル活動等褒賞規定に基づき、7万5千円を給付することに決定。
3. 平成16年度第1回評議会について
 5月22日(土)午後3時から、北九州市小倉北区の九州厚生年金会館(ウェルシティ小倉)で開催決定。
4. 会長選考委員会の日程について
 江口会長は平成16年5月の第1回評議会で任期満了となる。会則に基づき、会長選考委員会を会長の任期満了の1ヶ月前までに設置し、会長候補者を一人選出することになっている。この会長候補者は第1回評議会での議決を経て会長に承認される。
 会長候補者を決定する会長選考委員会を4月17日に開催することとし、3月11日までに各支部長あてに会長候補者推薦書を送付、4月6日までに会長候補者推薦者確定の日程を決定。
5. 卒業生激励会について
 学位授与式当日に同窓会、後援会共催で開催する「卒業生を送る激励会」を3月20日(土)に開催決定。
6. 報告事項
 出席報告: 11/30 応援団幹部披露宴
 01/20 留学生論文発表会、交流会
 01/24 武道館開き
 寄贈品: 第52回総会実行委員会から同窓会に書棚、
 白板2脚、電動ポット2個、折りたたみ椅子
 30脚

<平成15年第10回役員会>

2月14日、福岡県浮羽町の筑後川温泉「富久屋」で開催。江口会長以下本部役員17人と事務局から水上事務局長ら2人が出席。翌日は久留米市の筑後国一の宮高良大社と成田山に参拝、母校と同窓会の発展を祈願した。

1. 卒業生激励会の役割分担について
 3月20日開催の「卒業生を送る激励会」での役割分担を決定。また、同窓会会報「北友会会報」の号外として恒例の「卒業祝賀号」を3月10日付で発行決定。
2. 15年度の予算執行状況について
 事務局から執行状況についての説明を受け、また、16年度の各部門ごとの事業、運営方針の検討に入ることを確認。
3. 会長選考委員会について
 前回の役員会で選考委員会の開催日を4月17日と決定したが、同日に小倉支部総会があるため、選考委員会終了後、支部総会に合流してもらうこととする。
 選考委員については支部選出委員(12人)は、昨年秋の全国支部長会議の際、ブロックごとに各支部長の互選で決定しているが、本部選出委員(2人)は組織統括の斎藤忠和、広報、情報担当の石田雅教両副会長に決定。
4. 報告事項
 出席報告: 02/07 宮崎支部総会、応援団歓送会
 次回役員会は3月8日の予定。

六甲全山縦走を目指して

第1回六甲山分割縦走

須磨浦公園～旗振山～横尾山～須磨アルプス～妙法寺～高取山～丸山～神鉄ひよどり越駅 17km

「六甲全山縦走に挑戦する」と本紙1月号で宣言した安徳信義氏(44商)に呼応して、まずは分割縦走で脚試しと名越支部長の呼びかけで、神戸ウォーキング協会主催の六甲山分割縦走に参加することになった。参加者は、すでに4回の全山縦走を完走している歩こう会会長の藤田博保氏(35商)サブリーダーの高尾巖(36商) 挑戦宣言者の安徳氏と名越支部長。現歩こう会会長の二宮氏は都合により不参加。9時半須磨浦公園駅集合だったが、9時過ぎには4名とも揃い、各人の意気込みが感じられる。非会員の我々は参加料300円を払い受付を済まし、本日のコースの案内地図を受領。

出発までの間、縦走経験者の藤田氏から体験談を聞き、士気を高める。

主催者から本日のコース、注意事項等の話があり、準備体操、ストレッチ体操をして、9時45分ころにやっと出発。



須磨浦公園で出発を待つ

須磨浦公園から鉢伏山上の遊園地までの上り坂は何度も歩いた道だが早くも息切れしてくる。先が思いやられる。藤田、安徳両氏はどんどん先に歩いて行き、高尾、名越の両名はずるずると後方に下がってしまう。歩くほどに身体が温まり、鉢伏山上手前の広場で一枚脱いで、一息入れて山上を目指す。鉢伏山上にやっと到着するも、先行の二人の姿は見えぬ。そのまま旗振茶屋まで向かう。ここでも二人の影無し。ここからおらが山までは比較的なだらかな道が続き、呼吸乱れも回復し、一気に高倉団地迄軽快な足取りで向かった。ここでやっと先行の二人が待っていてくれて合流する。



ここからは400段の階段のある横尾山へと士気を鼓舞して向う。難行苦行を覚悟して階段に向うが、大勢の人で行列になって渋滞状況で5-6歩登っては立ち止まりといった状況でそれほど苦痛を感じることなく最上段まで登ることが出来た。全山縦走の本番でもこんな調子かなとちよっぴり安心。

ここからは400段の階段のある横尾山へと士気を鼓舞して向う。難行苦行を覚悟して階段に向うが、大勢の人で行列になって渋滞

状況で5-6歩登っては立ち止まりといった状況でそれほど苦痛を感じることなく最上段まで登ることが出来た。全山縦走の本番でもこんな調子かなとちよっぴり安心。

階段を登りきると須磨アルプスまで上り坂が続き、無理をせず一歩一歩踏みしめながら、写真を撮りながら登って行くうちに又もや二人と離れてしまった。

本日最大の難所である須磨アルプスでは、手を付きながらの歩行となり渋滞が発生していた。

須磨アルプスを越えて東山付近で12時近くになっていた。携帯電話で安徳氏を呼び出すと昼食場所の椿谷公園に既に到着して弁当を食べていると。

当方はまだまだそこまで30分は掛かるだろうに。昼食に早くありつきたくて下り坂をとんとんと急ぎ足で降りて行く。

どうやら我々は最後尾に近いグループだった様だ。

先行グループは、我々が昼食にやっとありついた時には、既に出発態勢が整っており、2班に分けることとなり、12時40分が先行班、13時に後方班が出発することとなった。



ここで、主催者側から本日の参加者は371名と発表。

本来なれば先行班と一緒に出発可能な二人は我々を待って後方班約70名位と一緒に出発。

二人の友情に感謝。横尾団地を抜け、地下鉄の線路の下を



潜り抜けて、妙法寺から奥妙法寺へと抜け、高取山への登り口迄来たとき、高尾氏が膝がおかしいと大事をとり引き返すことになってしまった。残念!

高取山頂までの登りは結構長く続いていたが、歩き慣れからか、それ程苦痛とは感じなかった。それでも二人にはかなり遅れてしまったが、無事踏破。むしろ高取山下山後の丸山からひよどり越駅までの住宅地のだらだらと続く上り坂がしんどかった。15時無事ゴール。



兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1
タイシンサンセットビル6F
電話078-392-2466

お気軽においで下さい

1階は
がんこ寿司

JR元町

JR三宮

歩こう会発足3周年記念

明石・なぎさ海道を歩く

平成16年3月14日(日)実施

集合時間:午前10時 JR明石駅改札口前

コース:JR明石駅北口→明石市立天文科学館→柿本神社→月照寺→明石神社→明石市立文化博物館→明石公園(明石城)→明石川河川敷→無量光寺→岩屋神社→高速船乗り場→魚ノ棚商店街→JR明石駅(約7.0km)

3月10日現在参加者

河野、伊藤、藤田、高尾、名越、二宮、安徳、佐藤
ゲスト参加:謝、野村、小谷

剣豪、宮本武蔵作といわれる庭園が見られるかも、皆さんのご参加お待ちしております。